



じょうそう

編集・発行
常総地方広域市町村圏事務組合
守谷市野木崎2522番地
TEL . 0297(48)2339
<http://www.jyouso-koiki.or.jp>

防災について学びませんか



竜巻による被害・龍ヶ崎市



県南総合防災センター

平成21年10月8日、日本列島に上陸した台風18号は各地で被害をもたらし、茨城県では龍ヶ崎市等で竜巻が発生し、住宅の半壊や屋根瓦が飛んだりするなど多くの被害をもたらしました。取手市においても床下浸水などの被害に見舞われました。

先日、10月15日に取手市立久賀小学校4学年37名の児童が施設体験見学に訪れました。施設体験見学では、「小貝川の治水の説明」「防災センターの概要説明」「防災訓練の重要性のビデオ上映」「防災機器の試運転」「消火器の実演」を行い、防災の必要性を感じていました。

特に年少からの防災意識を高めるために小学生を対象とした「施設体験見学研修会」や「防災ポスター展示会」などの啓発事業を行っております。

県南総合防災センターでは、平常時において防災に関する「防災講演会」や「救急講習会」「水防訓練」などの啓発活動を行っております。

災害はいつ起こるかわかりません。県南総合防災センターでは、平常時において防災に関する「防災講演会」や「救急講習会」「水防訓練」などの啓発活動を行っております。

ご意見、ご要望をお気軽にお電話ください。

- 常総地方老人福祉センター「白寿荘」 0297(48)3217
- 常総環境センター 0297(48)2314
- 常総運動公園 0297(48)5675
- 常総広域消防 0297(23)0119
- 消防テレホンサービス 0297(22)0119
(常総《旧石下地区を除く》・守谷・つくばみらい地区)
- 常総広域視聴覚ライブラリー 0297(48)2339
- 県南総合防災センター 0297(83)2776

ごみ減量化の推進

現在の環境行政を取り巻く状況は、温室ガス発生抑制や資源のリサイクルによる環境保全のため、早急に循環型社会を構築していくことが必要です。

常総広域でも、今後の人口増加等に伴うごみの増加に対応するため、構成市民の代表者が参画した「ごみ減量化プロジェクト」を設置し、現行の5種13分別から5種16分別の実施による資源化の促進、すでに実施している生ごみ堆肥化の推進強化による可燃ごみの削減等の具体的な減量化・資源化の内容を検討し、施策を展開していくよう取り組んでいます。

ごみ減量化プロジェクトの設置

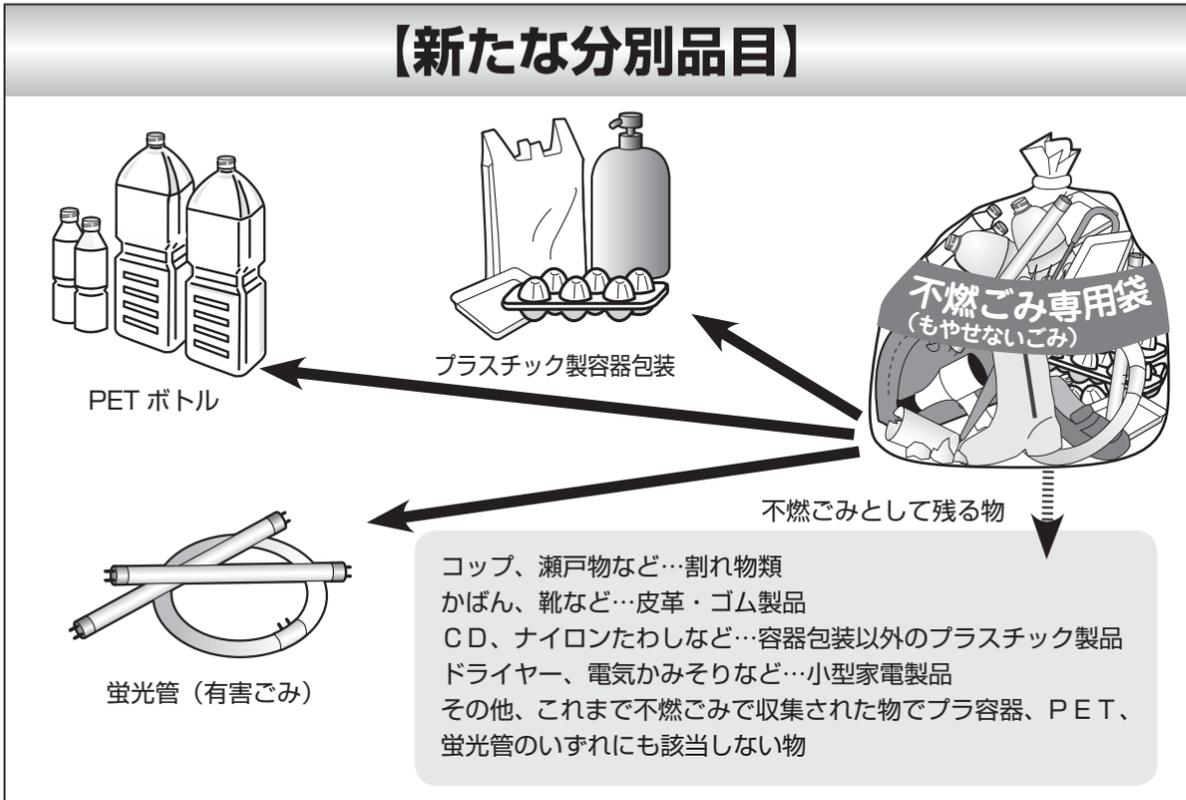
ごみの減量化、資源化に広く意見を聴取し、市民が積極的に取り組むことができるように、広域圏のごみ減量化及び資源化のシステムを構築するため、各市より消費者、生産者及び販売者のそれぞれから代表者を1名づつ選出し、12名の委員による委員会を設け、行政部局からは、衛生担当部長、課長及び企画担当課長による幹事会や各市の衛生担当部長と組合の担当者によるワーキングにより、市民参加による官民一体となったごみ減量化プロジェクトを平成21年5月18日に設置しました。

減量化の取り組み

①新分別区分への移行

平成24年度の新施設稼働にあわせて常総広域圏内では、5種13分別から16分別へと変更いたします。これから数回にわたり、その主な変更点と注意点を皆様にお伝えしてまいります。

今回はその第1回目ということで、今まで不燃ごみとして回収されていたものが、不燃ごみとしても含め新たに4種類に分かれることをご知ら



せします。新分別区分として、今まで不燃ごみとして回収されたも

○廃蛍光管 収集方法：ステーション収集 条件：そのままの形で壊さ

○ペットボトル 収集方法：ステーション収集 条件：キャップとラベルを

取り除く 出し方：指定袋

○プラスチック製容器包装 収集方法：ステーション収集 条件：指定された物で汚れ

がない物 出し方：指定袋

○蛍光管の3種類が加わります。 新たな3種類のごみの出し

方・収集方法は、

○プラスチック製容器包装

条件：指定された物で汚れ

がない物

出し方：指定袋

収集方法：ステーション収集

条件：キャップとラベルを

取り除く

出し方：指定袋

収集方法：ステーション収集

条件：そのままの形で壊さ

せない 出し方：そのまま

収集方法：公民館等拠点収集 になります。

プラスチック製容器包装と

は、食料品や日用品の商品を

入れた物やプラスチック製の

容器・包装物であって、商品

が消費されると不要になる物

で汚れがついていない物で

す。収集範囲は現在検討中

です。

②生ごみ堆肥化モデル事業

循環型社会の形成を進める

ことでごみの資源化・減量化

を図るための施策の一つとし

て、生ごみ堆肥化事業を推進

しています。

これは、家庭から排出され

る水分を多く含んだ生ごみを

可燃ごみから分別回収し別処

理をすることで、可能な限り

資源化を行いごみの焼却量を

減らすことを目標に推進する

ものです。

現在、常総広域では、守谷

事業所と取手事業所の2事業

所において、生ごみ堆肥化事

業を行っています。

【施設の概要】

○守谷事業所

・施設稼働 平成20年4月

・処理規模 日量3・8t

・型式 堆積方式(通気型)

・平成20年度実績

協力世帯数 1,530世帯

生ごみ回収量 243t

○取手事業所

・施設稼働 平成21年4月

・処理規模 日量1・5t

・型式 堆積方式(EM)

・平成20年度実績

協力世帯数 1,306世帯

生ごみ回収量 82t

今後は常総広域圏全体の事

業として推進していくため、

施設の拡大、分散化やステ

ーション収集等について検討し

ていきますが、現施設におけ

るモデル協力世帯が計画に達

しておりません。

すでに実施しているモデル

地域の中で「やってみよう」

と思われる方がいらつしやい

ましたらお住まいの市役所環

境課までお知らせください。

平成20年度守谷事業所の生ごみ収集処理状況

常 総 市	協力世帯 (世帯)	113
	回収量 (kg)	31,270
守 谷 市	協力世帯 (世帯)	843
	回収量 (kg)	138,530
つくばみらい市	協力世帯 (世帯)	482
	回収量 (kg)	73,440
計	協力世帯 (世帯)	1,438
	回収量 (kg)	243,240

※取手市については平成21年度より参加 ※協力世帯数は年間平均値です

(単位：世帯)						
区 分	H21	22	23	24	25	26
常 総 市	400	400	800	1,000	1,200	1,400
取 手 市	2,306	2,500	3,200	3,500	3,800	4,200
守 谷 市	2,000	2,450	2,900	3,300	3,700	4,100
つくばみらい市	800	800	1,200	1,400	1,600	1,800
計	5,506	6,150	8,100	9,200	10,300	11,500

【モデル地区協力世帯計画】

アンケート調査結果

生ごみ堆肥化事業を拡大するうえで効率的に事業を推進するため、協力世帯の意向調査を行いました。

○実施時期 平成21年8月

○対象 モデル地区協力世帯 (守谷事業所2,534世帯)

○回収率 69%

○内容

問1 参加理由

・環境に良い90%

問2 バケツの使用状況

・臭いが気にならない63%

問3 ステーション回収

・協力する74%

問4 バケツ袋無料配布廃止

・協力する59%

問5 共用のバケツ回収

・協力する45%

問6 生ごみ処理機の使用

・使ったことが無い77%

問7 生ごみ処理機の不使用

・うまく堆肥ができない45%

問8 その他の意見

・可燃ごみが減って良かった

・大変良い事業なので積極的に推進してほしい

・財政的に成り立つのか

・堆肥がほしい

・回収方法は戸別収集が良い

・袋は有償でもよい

今後の事業推進に役立た

せていただきます。

ご協力ありがとうございます。

ました。

台風による被害

常総環境センターにおいて

平成21年10月8日、台風から

もたらされた風速30mにも及

ぶ強風により、ごみ焼却施設

屋上の防水シートがはがれ、

一部飛散するという事態が生

じました。また、その後の雨

で直下にあるごみピット天井

部分で雨漏れをおこし、中に

あるごみクレインのブレイキ

が効かなくなったり、一時停

電になるなど電気系統、特に

照明設備に悪影響を及ぼしま

した。

環境センターの屋上は、防

水シートに覆われ水の浸入を

防ぐ構造になっております

が、20年が経過し、老朽化が

進んでいる状況でした。

幸い、今回の台風の被害で

は、ごみ処理に影響はありま

せんでしたが、最悪の場合、

焼却炉の停止にもなりかねな

い被害でした。焼却炉及びそ

の周辺機器だけでなく、建屋

自体も傷んできているので、

一刻も早い新施設の完成が待

たれるところであります。

なお、現在補修は完了して

います。



環境センター屋上防水シート被害写真

第三次ごみ処理施設の進捗状況

ごみ処理施設の整備は、一般的に設計と施工を併せて行う性能発注方式が採用されており、

第三次ごみ処理施設についても性能発注方式により発注しており、契約後、発注仕様書に基づき請負者が設計を行って図面化するものですが、この作業において、組合が求める性能、条件が確保されるか、安全性、作業性などに配慮されているか等の技術審査を行うこととなっております。

第三次ごみ処理施設建設工事は、平成20年度から平成23年度の4ヶ年で新施設を建設し、新施設稼働後に既存施設を解体するスケジュールで株式会社と工事契約を締結しております。

平成20年度は、工事着手の初年度として設計図書を作成しながら、建設位置にあたる運動公園内の児童遊具やテニスコートの一部の撤去、植栽の伐採、環境センター内の仮設計量機の設置などの準備工事を行ってきました。

しかし、新施設のシステムの安全性や事業費などの妥当性について検証するため、12月より工事を一旦中断しました。

検証業務については公平性を保つため、第三者機関である公的機関で、機種選定・入札・契約に至る経緯、更新と基幹改修の比較選択、契約内容の確認、施設の処理システムの安全性の検証、建設費に係る検証を実施いたしました。

検証の結果、契約内容の適正、更新の必要性、処理システムの安全性、建設費についての妥当性が確認されました。また、不在であった施工監理コンサルタントの後任のコンサルタントの選定における基準や技術者の評価と業務実績、技術力、財政力などの審査業務を行いました。

さらに、構成団体の財政負担の低減を図るため、建設費の削減、維持管理費の削減、システムの安全性向上、建設請負業者・施工監理業者への技術指導を実施するため、第三者機関に業務を発注しております。

このような更新事業に対する検証業務により、平成20年12月から平成21年5月までの工事の中断や再開後の調査業務、実施設計、許認可申請に係る協議などにより約1年間の工期延長が生じ、施設竣工は平成23年3月から平成24年3月となりました。

現在、工事は、平成21年12月の実施設計、許認可の申請等の手続きを経て、来年1月の本体工事の着工に向けて9月から支障物移転等の新施設建設に伴う造成工事に着手しています。

環境センターに御用のある方は、本格的な工事により構内が大変狭くなっておりますので、現場係員の指示に従ってください。また、児童遊園、テニスコート全8面の内の1面及び練習コートが利用できなくなっております。

利用者の皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、引き続きご協力をお願いします。

平成20年度ダイオキシソ類調査結果

常総環境センターでは、センターの周辺、主に煙の流れる3方向各1km・2km地点を7箇所、及び比較参考のため圏域内各地6箇所、計13箇所に、ダイオキシソ類の調査を行いました。また、焼却施設の排出ガス等は年2回行い、いずれも基準値を下回りました。結果は次のとおりです。

■大気環境調査

秋期と冬期に高いのは、空気が乾燥しているため、浮遊している粉塵量が多く、その粉塵に付着しているダイオキシソ類が検出されるために高くなる傾向にあります。周辺の平均値が0.11ピコグラム、圏域内各地の平均値が0.11ピコグラムで、国の環境基準値0.6ピコグラムを下回っています。

■土壌環境調査

周辺平均値が18.4ピコグラムで、国の環境基準値1,000ピコグラムを下回っています。

■排出ガス中ダイオキシソ類調査

各炉の平均値が0.093ナノグラムで、国の排出基準値1を下回っています。

■焼却灰、焼却飛灰中ダイオキシソ類調査

焼却灰の平均値が0.00068ナノグラム、焼却飛灰の平均値が0.29ナノグラムで、排出規制値3を下回っています。

大気及び土壌環境調査結果

(単位 土壌：ピコg-TEQ/g 大気：ピコg-TEQ/m³)

測定場所	土壌濃度	大気濃度				
		年平均	春期	夏期	秋期	冬期
センター周辺7箇所平均値	18.4	0.11	0.031	0.028	0.18	0.21
参考地区平均値		0.11	0.028	0.027	0.20	0.19
環境基準値	1,000	0.6				

排出ガス等調査結果

(単位 排ガス：ナノg-TEQ/m³ 焼却灰及び焼却飛灰：ナノg-TEQ/g)

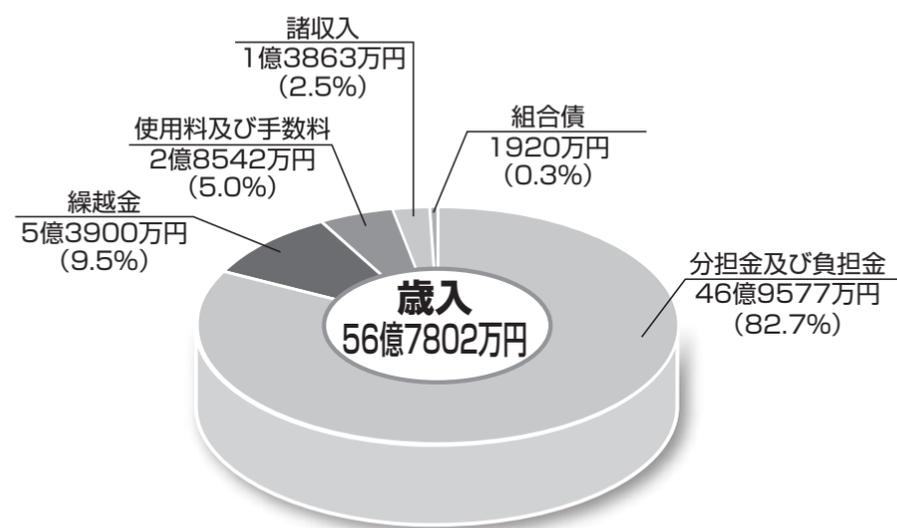
区分	排出ガス				焼却灰	焼却飛灰
	1号炉	2号炉	3号炉	平均		
1回目	0.075	0.050	0.059	0.061	0.0013	0.35
2回目	0.13	0.11	0.14	0.13	0.000069	0.22
平均	0.10	0.080	0.10	0.093	0.00068	0.29
排出規制値	1				3	

※センター周辺地区：保食神社、清滝寺、大円寺、地域子育て支援センター、香取神社、正安寺、大野小学校

※参考地区：守谷小学校、常総市役所、取手市役所、藤代行舎、つくばみらい市役所伊奈庁舎、谷和原庁舎

平成20年度決算の概要

平成20年度常総地方広域市町村圏事務組合の一般会計歳入歳出決算は、歳入56億7802万円(対前年比4.8%減)、歳出53億3538万円(対前年比1.7%減)となり、歳入と歳出の差引額は3億4264万円となりました。

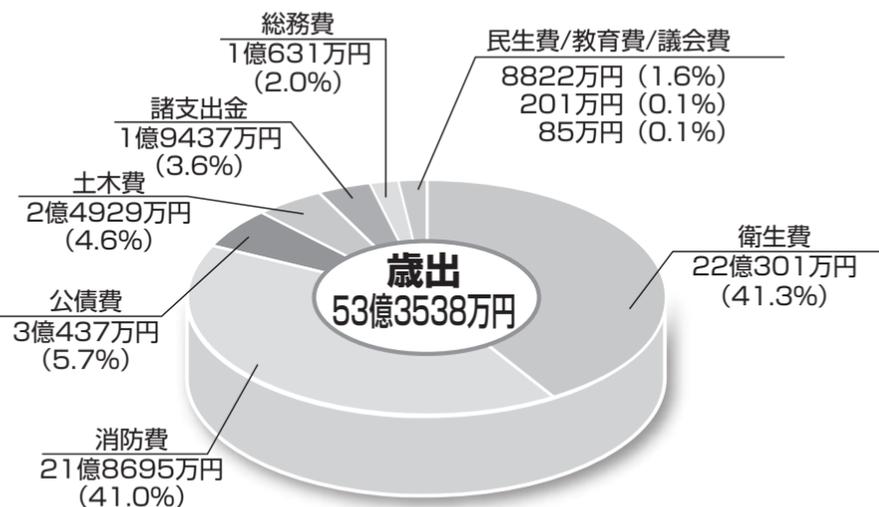


歳入内容

- 分担金及び負担金**：構成4市からの負担金
- 使用料及び手数料**：常総運動公園・白寿荘の施設使用料、自動販売機設置使用料等、ごみ処理・危険物取扱手数料
- 繰越金**：前年度繰越金
- 諸収入**：銀行預金利子、資源物・廃プラスチック固形燃料売払代、高速道路救急業務支弁金等
- 組合債**：ごみ処理施設更新事業の借入金

歳出内容

- 議会費**：議会関係の運営費
- 総務費**：総括的運営調整経費、職員共同研修経費、公平委員会・監査・防災センターの運営経費等
- 民生費**：白寿荘の管理運営経費、障害者支援施設管理経費、白寿荘建替事業費
- 衛生費**：常総環境センター管理運営経費、ごみ処理施設更新事業費、最終処分場建設事業費
- 土木費**：常総運動公園の管理運営経費
- 消防費**：消防の管理運営経費
- 教育費**：教育委員会運営経費、視聴覚ライブラリー管理運営経費
- 公債費**：組合借入償還金
- 諸支出金**：常総環境センター建設基金



募集・お知らせ

常総地方老人福祉センター「白寿荘」

白寿書道展

《開催日》2月5日(金)
 《内容》白寿荘が依頼した講師により出品された作品の審査を行い、作品の講評、実技指導を行います。なお、出品作品は2月12日(金)まで会議室で展示いたします。

《募集作品》各市約10点(1人2点まで)軸装(仮表装可)でお願いします。

《募集期間》12月24日～1月13日

白寿のご自慢民謡大会

《開催日》2月19日(金)
 《内容》日頃の練習の成果を発表し、皆様で競っていただきます。

《募集人員》各市約15名

《募集期間》1月4日～1月20日

白寿カラオケ大会

《開催日》3月12日(金)
 《内容》日頃のカラオケ練習の成果を発表し、皆様で競っていただきます。

《募集人員》各市約15名

《募集期間》1月20日～2月10日

白寿荘行事申込窓口

○常総市社会福祉協議会
 TEL 0297 (23) 2233

○取手市社会福祉協議会
 TEL 0297 (73) 3010

○守谷市介護福祉課高齢福祉グループ
 TEL 0297 (45) 1111

○つくばみらい市介護福祉課
 TEL 0297 (58) 2111

○坂東市社会福祉協議会
 TEL 0297 (35) 4811

常総運動公園

小学生なわとび競技大会
 《開催日》2月28日(日)
 《種目》時間とび、二重とび
 《対象者》圏域内の小学生
 《申込方法》参加申込書を小学校に提出

県南総合防災センター

ネットワークフェアの開催
 取手市においてネットワークフェアを開催します。取手市では展示や販売など様々な催しを計画しており、常総広域でも環境や防災に関する催しを予定しています。

環境に関する催しとして

- ・製造した堆肥の配布
- ・野菜の販売等を多目的グラウンドにおいて予定

防災に関する催しとして

- ・防災ポスター展示
- ・非常食の試食販売等を県南総合防災センターにおいて予定しております。

この機会にぜひ環境・防災について学んでみませんか。皆様のご来場をお待ちしております。

日時：平成21年11月28日(土)
 午前10時～午後2時

結果報告

場所：藤代スポーツセンター
 多目的グラウンド、県南総合防災センター

◆白寿囲碁大会(9月4日)

参加者 83名

A級
 優勝 浅井 忠彦
 (つくばみらい市)

準優勝 近藤 剛彦(坂東市)

三位 上岡 明
 (つくばみらい市)

B級
 優勝 宇都宮茂夫
 (つくばみらい市)

準優勝 上野 敏一
 (つくばみらい市)

三位 石塚 丞(常総市)

C級
 優勝 中山 文夫(坂東市)

準優勝 島田 恵助(坂東市)

三位 遠藤公志郎(坂東市)

◆敬老福祉大会(10月2日)

参加者 170名

午前の部 福祉講演会
 講師 茨城県地球温暖化防止活動推進員 塚原圭子先生
 講話「江戸の生活に学ぶ環境問題」を江戸時代の庶民の生活と現在の日常生活を対比により紹介しながら、現在の使捨ての生活からリサイクルをして最後まで使切る循環型生活の進めと、ごみの減量化推進による地球温暖化防止についての講演を皆さん笑顔で聞き入っていました。

午後の部 白寿のご自慢民謡大会入賞者、白寿カラオケ大会入賞者の発表を行いその後、芸能アトラクションとしてバンド演奏、舞踊、民謡等で楽しんでいただきました。



◆グラウンドゴルフ大会(10月29日)

《男子》
 優勝 沼尻 一男(常総市)
 準優勝 昆野 博(取手市)
 三位 中山 耕
 (つくばみらい市)

《女子》
 優勝 原田ヒサ子(取手市)
 準優勝 小菅はる江(守谷市)
 三位 佐藤 徳子(取手市)



◆中学校対抗球技大会(8月18・19・20・21・22日)

《野球の部》(参加23校)
 優勝 取手第一中学校(取手市)
 準優勝 藤代南中学校(取手市)
 三位 坂東南中学校(坂東市)
 三位 猿島中学校(板東市)

《サッカーの部》(参加19校)
 優勝 坂東南中学校(坂東市)
 準優勝 鬼怒中学校(常総市)
 三位 水海道中学校(常総市)
 三位 御所ヶ丘中学校(守谷市)

《ソフトテニスの部》
 《男子団体》参加12校
 優勝 藤代南中学校(取手市)
 準優勝 藤代中学校(取手市)
 三位 小絹中学校(つくばみらい市)
 三位 永山中学校(取手市)

《男子個人》参加35組
 優勝 神之田・富澤組(藤代南中)
 準優勝 葛西・横張組(戸頭中)
 三位 入澤・石浜組(藤代南中)
 三位 柳葉・石井組(戸頭中)

《女子団体》参加14校
 優勝 けやき台中学校(守谷市)
 準優勝 愛宕中学校(守谷市)
 三位 御所ヶ丘中学校(守谷市)
 三位 取手東中学校(取手市)

《女子個人》参加42組
 優勝 國府田・重田組(けやき台中)
 準優勝 増田・久保田組(愛宕中)
 三位 川上・海老原組(けやき台中)
 三位 近藤・山下組(けやき台中)



◆硬式テニス大会(平成21年10月11日(日))

《男子の部》(参加33組)
 優勝 青山・名畑組(m&m)
 準優勝 松好・忠鉢組(m&m)
 三位 金永・高田組(m&m)
 三位 深野・森組(TTC)

《女子の部》(参加18組)
 優勝 倉持・黒田組(柏葉)
 準優勝 喜瀬・高橋組(m&m)
 三位 外山・永田組(戸頭TC)
 三位 鈴木・細江組(m&m)

組合議会報告

◆組合議会臨時会(5月18日)

・事業報告について
 (組合の新型インフルエンザの対策、ごみ減量化の取り組み、施工監理コンサルタンの選定状況、スーパーバイザーの導入について、平成20年度周辺大気土壌ダイオキシン類調査結果の報告)

・平成21年度組合一般会計補正予算(第1号)(可決)
 (スーパーバイザー業務委託に伴う、歳入歳出2千万を増額し、予算総額93億6千5百36万1千円とした)

◆議会全員協議会(7月30日)
 ・第三次ごみ処理施設更新事業に係るスーパーバイザー業務の導入に伴う内容の検討
 ・第三次ごみ処理施設建設工事のスケジュール等について
 ・住民監査請求の結果について

◆組合議会臨時会(7月30日)
 ・専決処分事項の承認について(承認)
 (国の人事院勧告に伴う給与改定に準じる改正であり、6月期末勤勉手当の支給月数を引き下げる内容)
 ・購入契約の締結について(可決)
 (水海道消防署に配備予定の消防高規格救急自動車の購入)
 ・組合公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて(選任同意)
 (岡野敏氏を再任)

◆議会全員協議会(8月31日)
 ・スーパーバイザー業務によるシステムの安全性向上、建設請負業者・施工監理業者への技術指導、維持管理費の削減について協議
 ・ごみ減量化に伴う、ごみ減量化プロジェクトの協議状況報告

・白寿荘建替事業計画に伴う指定管理者候補者の報告

◆組合議会臨時会(10月2日)
 ・工事請負変更契約の締結(可決)
 (第三次ごみ処理施設建設工事の契約額を1億2千4百13万1千円減額し、工期を平成25年3月31日と1年延長した)
 ・平成21年度組合一般会計補正予算(第2号)(可決)
 (第三次ごみ処理施設建設事業の工事費32億9千3百19万2千円を減額し、予算総額60億7千2百16万9千円とした)